



言っ**て**は いけない

それ面接では
言いません！

普段何気なく使っている言葉…「これは使わないほうがいい言葉だ」と認識出来ていれば、注意して使わないようにする、ということもできますが(久米高生なら、面接で「やっほー!」と入室する人はいないでしょう)、

やっかいなのは、それが**不適切な言葉・表現だと気づいていない場合!!**

実は、ていねいに話そうと気をつけながらの会話こそ、**逆にとんでもなく失礼**になってしまっていることが!!
下に挙げる例は、敬語が使える使えない以前に、人間性を疑われ兼ねません。しっかりチェックしましょう。

ほーい

1. 「はい?」

「はあ?」と言うよりはマシですが…(—)

相手の言葉が聞き取れなかったときなど、**つつい**使っていませんか?

確実に相手を不愉快にさせますのでやめましょう。特に**オンライン面接**を受ける人は要注意!!

オンラインでは、相手の言葉が聞き取りにくい状況が**頻繁**に生じます。“必ず一度は聞き返しをしなければならぬような状況になる”、と想定して準備をしておきましょう。では、なんと云えばよいのでしょうか?

「恐れ入りますが、もう一度お願いできますでしょうか?」と丁寧にお願いしましょう。

また、質問の意味・意図が理解できなかった場合、つまり「**何を聞かれているのかわからなかった**」という場合も、必ず聞き直して、「何を聞かれたのか」確認した上で答えてください。



「聞き直すと失礼かと思ったから」こういう意味かな?と想像して適当に答えた」とか「分かりませんって答えといた」という生徒がいますが、まるでかみ合わないトンチンカンな回答になってしまう可能性があり、大変危険です。

「今いただいたご質問ですが、〇〇について、どのように思うかを述べる、という理解でよろしいでしょうか?」

「こちらの勉強不足で、頂いた質問に関して理解できなかった部分がありました。恐れ入りますが、もう一度説明をお願いできますでしょうか?」等、「**聞こえなかったのではなく意味が理解できなかったのだ**」ということを伝えましょう。

2. 「オッケーです」

毎日何度も耳にします。「A先生は? いない? あ〜 オッケーです」

— 敬う相手に使う言葉ではありません。ではなんと云えば良いのか。

OK = 「大丈夫」ってことで「大丈夫です」? 実はこの「大丈夫です」も使わない方がいい表現!

「大丈夫」は、YES(「わかりました」等)にもNO(「結構です」等)にも使われるケースがあり、誤解の元になってしまう恐れがあるからです(「大丈夫です」と何かを断るのは誤用)。

「承知しました」「かしこまりました」等が適切な表現になりますが、これでは大げさすぎる、と思える場合は「わかりました。ありがとうございます」などでもいいでしょう。

補足:上記で例に挙げた、“先生を訪ねたが不在だった”、“というような場合、「わかりました」で終わらせるのではなく、「では改めて放課後に参ります」「では〇〇室に行ってみます」など、“**いないことが分かって、じゃあこのあとどうするのか**”を相手に伝えるとさらに良いコミュニケーションになります。そうすることで、この例で生徒とやりとりしたC先生が、あなたが立ち去ってすぐA先生を見かけたというような場合に、「A先生、今Bさんが先生を訪ねて来ていましたよ。また放課後に来るそうです」と伝える等が可能になり、C先生も「あのあとBさんは無事A先生に会えたかな」と心配せずに済みます。



3. 「意味分かります？」



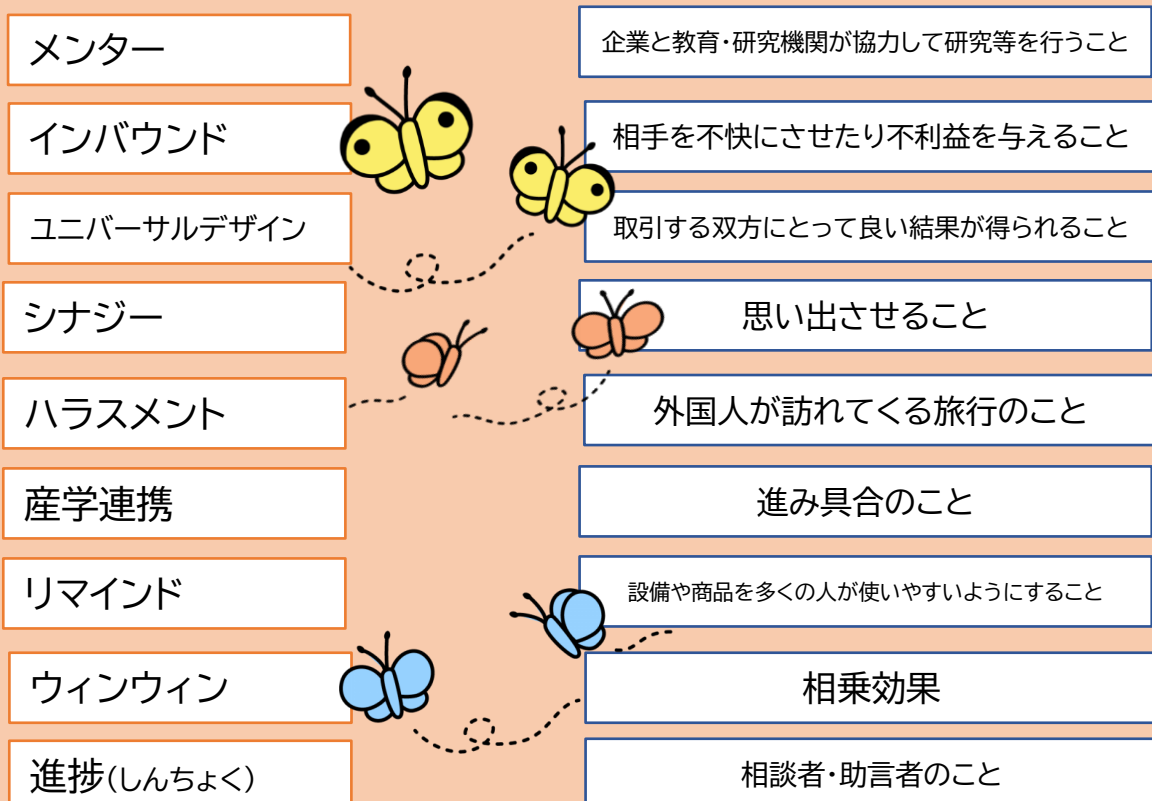
「あんたアホだから理解できないかもしれないから」、というつもりで言ったのではないのは分かります、自分の説明が下手で相手にうまく伝えられていないのではないか、そう心配になって、「私の言いたいことがきちんと伝わっているでしょうか」と確認したかったのでしょうか。が、これはない。。。相手によっては激怒することもあり得るし、面接だったらそこで打ち切られても仕方ない状況です。さて、なんと言えばよいでしょうか？考えてみてください（次号に回答例を掲載します）。

そのほか、「これでよいか」等確認された際に、

「です」「いちおうは」「ようは〇〇ってことですよね」と返したり、何かを尋ねられたのに「あ、別に」「じゃあいいです」と答えてやりとりを打ち切ったり、「中学のときは野球こかしてました」などなど、みなさんの“丁寧語”には、「それ言いません!」があふれています。家庭や学校では大目に見てもらえても、**進路活動においては「一発退場!」**につながりかねません。

百戦錬磨の面接官に挑む**最高に緊張する場面**で、**ベストの返答**を、**最適な言葉遣い**で伝えられるよう、**今日から切り替えていきましょう。**

受験・就活に登場！ 正しい組み合わせになるよう、左右を線で結んでね



答えは次号(^^)